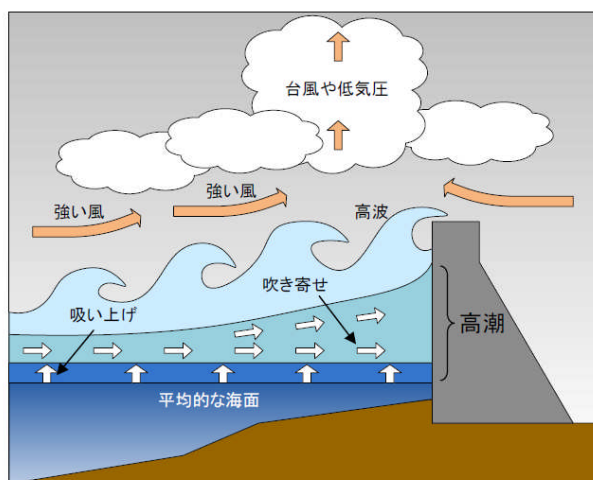


「高潮」という自然現象

～高潮を知り、災害から身を守ろう～

高潮とは、台風などが接近する際に気圧の低下で海面が吸い上げられたり、強い風で海水が海岸へ吹き寄せられたりすることによって通常よりも海面が高くなる現象です。海水が堤防などを乗り越えて浸入することによって道路や住宅などへ被害をもたらします。



高潮が発生する仕組み

< 吸い上げ効果 >

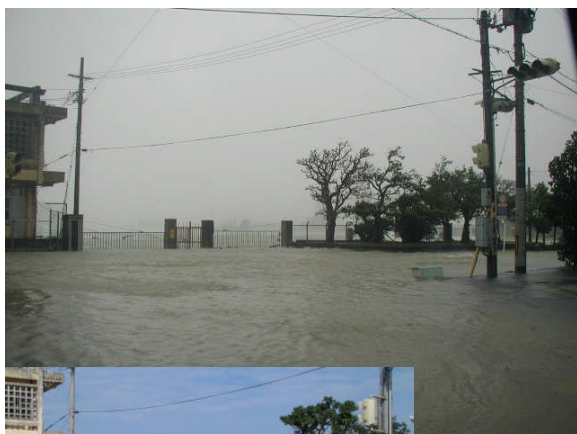
台風や低気圧の中心付近では気圧が低い
ため、大気が海面を押し付ける力が周囲より
弱くなり海面が上昇します。これを「吸い上げ
効果」といい、気圧が1ヘクトパスカル下がると海面は約1cm上昇します。

< 吹き寄せ効果 >

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって
吹くと、海水が海岸に吹き寄せられることにより海面が上昇します。これを「吹き寄せ効果」といい、風が吹いてくる方向に開いた湾では吹き寄せ効果によって、高潮が発生しやすくなります。

台風の接近による高潮と満潮時刻が重なると、それに伴って被害が起こる可能性も高くなり、特に注意が必要ですが、高潮の被害は満潮時以外にも発生しています。台風の接近が満潮時と重ならないからといって安心は出来ません。沖縄県の「高潮浸水予測図」などで自分の住む街の高潮浸水個所などを確認しておくことが大切です。

平成15年台風第14号による高潮（宮古島市平良港）



平常時

气象台では、高潮による災害が発生するおそれがある場合、高潮警報や高潮注意報を発表します。テレビ、ラジオ、インターネットなどで防災情報を確認しましょう。また危険を感じる時は、早めに避難しましょう。

沖縄气象台ホームページアドレス
<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>

